

在宅看護論実習

単
位
数

2

時
間
数

90

3年次 5月～10月開講

I. 目的

地域で生活している人々ならびに生活の場で療養している人と家族を理解し、
地域における看護の実際を学ぶ。

II. 目標

1. 地域で生活している人々の健康の保持増進・疾病の予防への援助活動を知る。
2. 生活の場で療養している人とその家族を理解する。
3. 生活の場で療養している人の訪問看護の実際を理解する。
4. 地域で活動している看護職の役割を理解する。
5. 保健医療福祉チームの活動をとおして多職種の役割および連携を理解できる。

実習評価

出席状況、実習内容、実習記録、実習態度を総合的に評価する。

学習上の留意点

この科目の受講にあたっては、以下の前提科目の履修が要件となる。

- | | |
|-----------|-----------|
| 基礎看護学実習 2 | 在宅看護方法論 1 |
| 在宅看護概論 | 在宅看護方法論 2 |
| | 在宅看護方法論 3 |